

令和元年8月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和元年8月28日(水)午後2時00分開会 午後3時25分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第30号から議案32号
日程第7 報告事項 報告第18号
日程第8 その他

○会議に出席した委員(4名)

1番 鹿嶽昌功 2番 吉田礼子
3番 中上之仁 4番 田口文夫

○会議を欠席した委員(1名)

5番 三木尚美

○説明のため出席した者(10名)

学校教育部長 岡崎正文 学校教育部次長 外岡明文
教育総務課長 浅野晋司 学校教育課長 山本直也
教育研修所長 村岡智行 学校給食課長 宮城信之
文化スポーツ課長 横溝朋之 教育総務課参事 上野樹
学校教育課参事 吉田裕彦

三田市立ひまわり特別支援学校教科用図書選定委員会委員長 松下修

○代表学校長(1名)

小学校校長会代表 福井加寿子

○会議に関係した事務局員(3名)

教育総務課 松田成行
寺嵐晶子
藤本真

○会議録署名委員

教育長 鹿嶽昌功
教育委員 吉田礼子

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和元年8月第240回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

(令和元年7月17日教育委員会臨時会会議録により説明)
(令和元年7月25日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局から説明がありました会議録について、何かご質問はございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、2番 吉田 礼子委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和元年8月28日水曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

前回は、来年度から使用する小学校の教科用図書の選定を中心にお世話になりました。ありがとうございました。
今日は28日ですが、本日から中学校の2学期が始まっています。授業時数の確保といった面からも、中学校で先行して実施いたしましたが、夏休み明けは、学校生活のペースに急には乗れないなど、不安のある生徒もい

ます。この3日間は給食のない半日ということですが、ウォーミングアップといったことでも、取り組む意味は大きいと思います。今年の中学校の取り組みを検証する中で、小学校についても、検討して行きたいと思っております。

それでは、前回(7/25)の定例会以降の状況についてご報告いたします。

1 阪神7市1町教育委員会連合会総会及び研修会(7/31)

7月31日、芦屋市において阪神7市1町教育委員会連合会の総会と研修会が開催され、教育委員の皆さんとともに参加いたしました。

今年から2年間、芦屋市が当番ということでお世話になります。総会では昨年の事業報告、今年度の事業計画等議決いただき、続いての研修会では本年度からスタートした、兵庫県の第3期の教育基本計画「ひょうご教育創造プラン」について兵庫県教育委員会教育企画課の稲次課長より説明いただきました。

「心豊かな人づくり」とともに、「未来への道を切り拓く力を育成する」といった、これからの社会を生き抜く子どもたちの育成といったことで計画されています。三田市の教育振興基本計画も令和3年が目標年度ですが4年からの第3期計画策定に向けて来年後半から取り組んで行かなければなりませんので、県の計画も十分参考としていきたいと思っております。

2 三田市生徒指導研修会(8/1)

8月1日には、郷の音ホール大ホールで市内の全教職員を対象とした生徒指導研修会を実施しました。

今年度は、宮本国際法律事務所の弁護士で、「NPO法人ストップいじめ！ナビ」の理事をされている真下麻里子(ましもまりこ)さんに、教員免許をお持ちの弁護士という立場から、「いじめ予防と法的視点～みんなが心地よい学校へ～」と題して、講演いただきました。

法的な視点からお話をいただき、護身術の観点から行動するといったことも示唆いただきました。貸したDVDが傷ついて帰ってきたというお話では、財産権は弁償できるが、傷つけられた人格権は取り戻せない、人の尊厳を傷つけることは決して許されないなど、分かりやすいお話をいただきました。

どんな些細なことにもアンテナを張り、初期段階からチームとして、組織的に対応していくことの大切さを改めて実感したところです。

3 教職員のためのコンプライアンス研修会(8/2)

8月2日には、総合福祉保健センター多目的ホールで、「教職員のためのコンプライアンス研修会」を開催しました。3か年計画で1/3ずつの職員を対象に進めてきた最終年として、今年も引き続き大阪教育大学の尾崎先生を講師にお招きして「ソーシャルネットワークとのおつきあい」と題し

て研修を実施しました。

ソーシャルメディア上での振る舞いや発言が、社会的に大きな問題となるといった実際の事例などを詳しく説明いただきました。

「ツイッター」や「フェイスブック」など「ソーシャルメディア」は、私たちの生活において欠かすことのできない情報伝達手段となっていますが教育公務員として、その使用時のルールやモラルを身につけることの大切さなどについて、学ぶことができました。

4 第9回さんだサイエンスフェスティバル (8/3)

8月3日三田まつりの日ですが、午前から第9回目となる「さんだサイエンスフェスティバル」をキッピーモール6階のまちづくり協働センターで開催しました。

今年も「こうみん未来塾」との共催で、全部で16のブースを、市内の小中学校や高等学校、「こうみん未来塾」の皆さんなど、多くの出展者のご協力のもと運営いただきました。

今年も多くの子どもたちが参加してくれました。ユニークで楽しい実験や工作を通して科学のおもしろさや不思議を体験してもらえたと思います。開催にあたっては実行委員会の皆さんにお世話になりました。来年は10回目となります。開催準備など大変ではありますが、これからも続けていきたいと思っています。

5 令和元年第1回阪神7市1町教育長協議会 (8/6)

8月6日、川西市で阪神7市1町教育長協議会が開催され、「不登校児童生徒の現状と対策」、「学校における安全対策」の2点について協議しました。

「不登校児童生徒の現状と対策」では阪神各市では全国平均を上回る発生率であり、本市も含めて大きな課題となっています。現状を分析する中、新規の発生抑制と継続者へのきめ細かな対応など、その取り組みが参考となりました。

「学校における安全対策」では今年6月、川西での刃物を持った不審者侵入事件に対して、各市の学校での侵入者等に対する安全対策について議論しました。電子ロックによる門扉の施錠やカメラ設置など、経費の関係もありますが、子どもたちの安全は何よりも優先されるものであり、本市としても様々な想定の基での安全対策を検討して行かなければならないと思っています。

6 令和元年度 全県夏季教育委員会研修会 (8/20・21)

8月20日と21日に、六甲荘で兵庫県市町村教育委員会連合会が主催する「全県夏季教育委員会研修会」が開催され、教育委員の皆さんにも参加いただきました。20日は「プログラミング学習のねらい」と「新学習指

導要領と英語の授業づくり」、21日は「少子化・人口減少社会における学校と地域の協働」についての研修でありました。

来年から本格実施される新学習指導要領を踏まえた研修、学校と地域の協働など、有意義な研修でありました。

7 9月三田市議会定例会開会（8/23）

8月23日、9月議会の初日、2期目の森市政としての所信表明がありました

今回の9月議会では、10月から実施される就学前保育教育の無償化に係る条例改正として、幼稚園・保育所の保育料や学校給食費の関係、また来年4月からの公立幼稚園での3歳児保育の実施など、就学前の保育・教育に係る議案等が提出されたところです。

本日議会常任委員会で、学校給食費徴収条例の改正について説明してまいりました。来週から、一般質問に対する対応となります。

今期定例会は、9月17日までの会期となっています。

8 第67回日本PTA全国研究大会（8/23）

8月23日24日の両日、第67回の日本PTA全国研究大会が兵庫県で開催され、23日は県下各地で分科会が開催されました。

阪神地区では伊丹市において、「家庭教育」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションが行われました。本年度は阪神地区の会長を三田市の連合PTAが担当ということで、開催にあたってご苦労も多かったと思いますが、成功裡に終わられたのではないかと思います。

9 教職員全体研修会（8/23）

同じ8月23日、午後から郷の音ホールにおいて、教職員全体研修会を開催しました。昨年は台風の接近により、急きょ中止となりましたが、本年度は多くの教職員の皆さんの参加の下、開催することができました。

本年度のテーマは、「次期学習指導要領がめざす教育の実現」として、前半の研究発表では、三田市教育研究グループの特別活動部会、情報教育部会より発表いただき、後半は園田学園女子大学の堀田先生に、「次期学習指導要領がめざす情報活用能力の育成」として講演いただきました。大変わかりやすい講演でした。

小学校での本格実施まであと半年、今回の研修で得るものも多かったのではないかと考えています。

10 地域社会共生フェスティバル（8/24）

8月24日には、今年で第5回目となる地域社会共生フェスティバルが総合福祉保健センターで開催されました。

市の福祉部局と教育委員会、そしてひまわり特別支援学校が中心となって

特別な支援が必要な子どもたちの学校教育終了後の社会生活を送ることに
関する情報を得る機会として、市内及び近隣の障害者支援施設、就労支援
やグループホーム、デイサービスなどを実施されている13の事業者の皆
さんに参加いただき開催しました。

特別支援学級に在籍する子どもたちが増加する中、自尊感情を高め、社会
的に自立できる、自分たちの力を伸ばしていけるよう、さらなる支援が必要
です。

今回の説明会にブースを出していただきました事業者の皆さんに感謝いた
しますとともに、今後も福祉部局との更なる連携を図ってまいりたいと思
っております。

11 三田幸せプロジェクト (8/25)

8月25日、市役所・商工会館・総合福祉保健センターを会場として「三田
幸せプロジェクト」が開催されました。三田市人権を考える会の主催で、誰
もが幸せを感じる人権のまち三田をめざし、さまざまな人権課題について
市民の皆さんと一緒に考える機会として毎年8月第4日曜日開催されてい
ます。

私も部落差別を考える分科会に参加させていただきましたが、高齢者や障
害者、性的マイノリティーや子どもの虐待、多文化共生など、様々な人権
課題について学習し、一人一人が意識することで、人権文化の花咲く共生
のまち三田をつくっていかねばなりません。

私からは、以上です。

何かご質問等ございますか。

○教育委員 (田口 文夫)

教育長のご報告の中で、中学校では夏季休暇(夏休み)を短縮して、8月
28日から2学期が始まり、小学校についても、夏季休暇を短縮すること
を検討するとおっしゃっていました。中学校では空調の設置が済み、小学
校でも順次空調の設置が済みました。教育環境が整ったということで、小
学校でのプログラミング・英語の事業を考えますと従来の夏季休暇の日数
が40日という枠にとられず、夏季休暇の短縮をして欲しいという思い
があります。中学校でも、授業時数の事を考えますと、より夏季休暇の期
間を短縮できないか検討して欲しいと思います。今年度の夏季休暇の短縮
について検証、検討を出来るだけ早くしていただき、夏季休暇を短縮する
方向が決定されれば、市長部局との連携を密に、保護者、市民の方に情報
提供し、理解をいただく環境を整えて欲しいと思います。来年度から、夏
季休暇の短縮が出来るかどうかの方向性をなるべく早く定例会で、審議で
きるように要望します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

小学校長会でも、夏季休暇の短縮を検討していただいているところ
です。報告があがれば、なるべく早く教育委員会定例会で提案をさ
せていただいて、決定していきたいと思います。

日程第 6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況を点検し、及び評価
することについて

【三田市教育委員会事務委任規則第 1 条第 1 3 号】

議案第 3 0 号「教育委員会の事務に関する点検・評価報告書につい
て」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

議案第 3 0 号「教育委員会の事務に関する点検・評価報告書につい
て」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(田口 文夫)

市長部局でよく組織が変わっていて、部・課の名称も変わってい
き、だんだんと市民の皆様にも、組織名が、浸透して、どの様な仕
事をしているか見えてきているとは思いますが、関連がわかりにく
いと思います。例えば 2 ページの主な課題の所で、保育振興課、幼
児教育振興課、健やか育成課との関連はどういうものなのか、市民
の皆様はわかりにくいと考えますが、どう思われますか。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

組織改正に伴う形で、毎年 4 月に、改正される組織があります。今
年度は、子ども・未来部が新設され、教育委員会からも幼稚園が移
管されました。他にも、1 つの課がしていたことを 2 つの課にわけ
るというような事もあります。事務の内容によっては、協力、連携
をしなければならない事がありますので、協力体制をとる事になり
ます。「教育行政連絡協議会」がございまして、課題・ご意見・ご
要望等があれば、そこで、協議をする仕組みがあります。それぞれの
役割を検討し、情報共有し連携しております。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

わかりにくいですが、保育振興課は、保育所関係、幼児教育振興課は、幼稚園となります。最もわかりにくいのが、健やか育成課なのですが、就学前から大学生までが所管となります。幅が広すぎて、健やか育成という言葉からすると、就学前の子どもたちを健やかに育成するというイメージですが、青少年の健全育成、青少年の非行・補導など所管しています。主な課題にあがっています「登下校の安全確保」について、所管している部署となります。

○教育委員
(田口 文夫)

コミュニティ・スクールの項目で、健やか育成課の学校支援ボランティア事業・放課後子ども教室事業・こうみん未来塾事業という表現は、合っているのですね。ですから高校生も、大学生も、こうみん未来塾に入って来るのですね。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

その通りです。

○教育委員
(田口 文夫)

民生委員・児童委員さんの活動でも、児童としての対象は胎児から18歳までと本当に幅広いですからね。そういう意味では、健やか育成も幅が広がるのでしょうか。ただ、もう少しわかりやすくしていただくことが大事ですね。そして、連絡協議会を置かれているとのことですが、教育委員会と市長部局の子ども・未来部の組織との連絡協議会が、どの様に開かれ、連携し、どの様な協議が行われたかを市民にもわかりやすくしていただけるように、お願いしたいと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

もともとは、社会教育関係が、市長部局に移管しましたので、連絡協議会は社会教育を中心におこなっていました。今年から幼児教育振興課が市長部局に移管しましたので、連絡協議会は、より幅広くなっていくと思います。幼稚園の再編、3歳児保育の件などは、常に連携をしていますし、協議もしていますが、今年は、まだ1回目の幼児教育に関する連絡協議会は開いておりません。

○教育委員
(田口 文夫)

幼児教育の組織が教育委員会から離れると、今は組織が、市長部局に移ったという感覚ですが、だんだんと年数がたつと、縦割り行政ということで、関わりが薄くなるような気がいたします。教育委員会と市長部局の組織が、うまく連携を取れるようにしていかなけれ

ばいけないと思います。社会教育と同じように、幼児教育の部分でもスムーズに市長部局にうまく流れるようにしていただきたいです。他市でも、教育委員会が、幼児教育を所管している割合は少なくなっていると思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

どちらかというところ、現在は、教育委員会が所管しているところが多いです。教育と子育て支援のどちらに重点を置くかで、変わってくると思います。子育て支援に重点を置いたら、教育委員会よりも市長部局が中心となる流れになります。ただ、子どもたちは、必ず、小学生になりますので、社会教育以上に、子育て支援と教育の部分で、より連携が必要になると思います。

○教育委員
(田口 文夫)

現在の政府が、少子化の対応として子育て支援の政策を重点に掲げており、予算の受け皿は、市長部局へおりのわけですね。うまくすみ分けをしつつ、教育と子育て支援との連携、協力を上手にしていかなければならないと思います。そして、市民の皆様にもわかりやすくしていただくと嬉しく思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に、ご質問などはございませんか。
それでは、点検・評価報告書については、このようにとりまとめいたします。
点検・評価報告書は、議会に報告し、ホームページにも掲載して、市民の皆様公表することといたします。

(2) 教科用図書の採択を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号】

○教育長
(鹿嶽 昌功)

議案第31号「令和2年度使用三田市立ひまわり特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。

○教育研修所長
(村岡 智行)

議案第31号「令和2年度使用三田市立ひまわり特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明。

○三田市立ひまわり
特別支援学校教科用

「令和2年度使用三田市立ひまわり特別支援学校高等部教科用図書の採択について」三田市立ひまわり特別支援学校教科用図書選定委

図書選定委員会委員長
(松下 修)

員会の経過等を資料により概要説明。

調査研究の結果、令和2年度使用教科書を選定しましたので、申請させていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。特別支援学校高等部の使用教科書の選定となります。前回9条本の選定をしていただきました。それを基本として、削除する項目、新規の部分も含めた選定になります。前回説明していただいたのと同様のものとなります。全く同じですか。違う部分はありますか。

○三田市立ひまわり特別支援学校教科用図書選定委員会委員長
(松下 修)

「くらしに役立つ家庭」を1冊加えさせていただきます。高齢化社会にむけた高齢者の介護の様子イラストや、衣食住の基本的な生活に関する技能のイラストが記載してあり、非常にわかりやすい内容となっております。また、キャッシュレス化時代をむかえるにあたって、時代に即した、消費への対応も記載されています。高等部を卒業した生徒が、社会で自立するための過程に必要な知識、技能を学べる教科書となっております。

○教育委員
(田口 文夫)

この本は、表のどこに載っていますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

39ページが一番下に載っています。前は、この本は選定されていませんでしたので今回での選定になっております。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

来年、高等部に入学する1年生については、未定ですから、どの検定図書を使用するかわからないですよね。入学が決まった段階で、教科書の選定をし、報告していただくことになるのですか。

○教育研修所長
(村岡 智行)

その様にさせていただきたいと思います。入学する生徒に応じた指導をするため、生徒に適した教科書を検討し、選定いたします。

○教育委員
(田口 文夫)

時期的には、教育相談の過程で検定図書の選定をし、生徒が入学する前に、教育委員会へ報告する事になるのでしょうか。3月の定例会で報告していただく事になるのでしょうか。

○教育研修所長
(村岡 智行)

生徒が入学するためには、入学体験等が必須条件になっております。その中で、子どもの可能性を見いだして、教科書を検討して、選定していきたいと思っております。検定図書を使用する場合の教育委員会への報告は、タイトな日程となると思っておりますが、現時点では時期は未定でございます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に、ご質問などはございませんか。
なければ、このように決定いたします。

引き続きまして、本日の追加議案に移ります。

(1) 三田市教育委員会事務処理規程第13条に関する教育委員会の決定について【三田市教育委員会事務処理規程第13条関係】

○教育長
(鹿嶽 昌功)

議案第32号「藍市民センターの空調設備等改修工事にかかる三田市立図書館藍分室の臨時休館について」事務局から説明をお願いします。

○文化スポーツ課長
(横溝 朋之)

議案第32号「藍市民センターの空調設備等改修工事にかかる三田市立図書館藍分室の臨時休館について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
藍分室の本来の休館日はいつですか。

○文化スポーツ課長
(横溝 朋之)

年末年始と特別整理月間は、休館日となりますが、その休館日に今回の臨時休館を合わせたわけではありません。

○教育委員
(田口 文夫)

藍分室を利用する人は、どのようにして、本の予約リストを確認し、予約するのですか。

○文化スポーツ課長
(横溝 朋之)

ホームページからも予約できますし、本館でも予約する事が出来ます。

○教育委員
(田口 文夫)

予約した本は、臨時休館中の各日曜日に藍分室前の窓口で、受け取り、返却ができるのですね。

○文化スポーツ課長
(横溝 朋之)

その通りです。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問などございませんか。
なければこのように藍分室の臨時休館を承認いたします。

日程第7 報 告 事 項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第18号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

報告第18号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。
ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

日程第8 そ の 他 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、9月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

9月教育委員会定例会の開催日時は令和元年9月25日(水)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。
よろしくをお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
中学校校長会代表薩摩校長は、出張のため欠席となります。

小学校校長会代表より報告をお願いいたします。

○小学校校長会代表
(福井 加寿子)

○空調について

最初に、7月から各校で順次稼働となりました普通教室の空調設備について報告させていただきます。空調設置について、大変感謝しております。

今年の暑さは、昨年度の危険を感じる猛暑ほどではありませんでしたが、やはり学期末にかけての暑さに対しては、常に熱中症対策に細心の注意をはらいました。しかし今年は、子どもを教室に避難させることができるという安心感がありました。保健室への来室も昨年に比べて格段に減り、教職員の疲労感や体調不良も大きく軽減されました。本当にありがとうございます。今後は特別教室への設置、特に専科教員が常駐している教室を優先的に設置して頂きますよう、引き続きよろしくをお願いいたします。

○夏季休業中の児童対応について

長い夏季休業でしたが、どの学校でも、休暇中も気にかけている児童が多数おります。学習会や泳力補充として登校させ、様子を見たり話を聞いたりする対応や、定期的に担任から電話連絡や家庭訪問等の対応で、子どもの様子を確認するようにしています。また、休暇中とはいえ、子ども同士のトラブルが学校に知らされることもあり、子どもへの指導や保護者対応に追われた学校も複数聞いております。

更に、夏休み明けに登校をためらうことが心配される子どもへの対応も丁寧にしていくよう心がけています。本校でも、この8月末にはそのような子どもに担任から連絡をとったり、スクールカウンセラーのカウンセリングを行ったりしています。

新学期に子どもたちの明るい顔が学校にそろうように、十分な配慮や対応をしていきたいと思っております。

○9月の行事

新学期が始まると、9月は17校で修学旅行、13校で自然学校が予定されています。また運動会については2校が予定されています。これも暑さや台風など、天候が気になるころですが、安全面に十分配慮して、準備を整えて実施していきたいと思っております。

2学期もどうぞよろしくをお願いいたします。

○教育長

ありがとうございました。

(鹿嶽 昌功)

その他何かございませんか。

それでは、以上をもちまして本日の教育委員会定例会を閉会いたします。